

平成27年度事業報告

居場所事業

中央公民館	重点化	No.	評価	事業名	事業の目的・主旨 【新】・・・新規事業	開設数	対象	回数	時間帯	参加者数	延べ参加者数	連携				備考
												学校	地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会	活動協力員(人)	
1. 地域のコミュニティ活動	B	1		お寺でゴーン!	コミュニティ協議会と連携し、地域全体で子どもの健全育成に取り組み、地域の活性化を図る	1	総合	2	午前・午後・夜間	68	68	日和山小	日和山小	日和山小PTA、消防団		
	B	2		ひよこらんど学級	地域の子育て支援を担う人材の育成	1	成人	2	午前	1	2				1	保育実施
	B	3		湊校区コミュニティ学習会	湊校区コミュニティ協議会と連携し、地域課題についての勉強会や実習等を実施する	1	総合	3	午後	102	102			湊コミ		
	B	4		礎地域コミュニティ学習会	礎地域コミュニティ協議会と連携し、地域課題についての勉強会や実習等を実施する	1	総合	2	午前	38	38			礎コミ	1	
	B	5		鏡淵小学校区「街の魅力・情報発信」	鏡淵小学校区コミュニティ協議会と連携し、地域の魅力発信のためのマップ作成を行う	1	成人	2	午後	3	12			鏡淵コミ		
2. 学・社・民の融合	B	6		スクールコンサート	子どもの体験活動、公民館活動団体と子どもたちとの交流	1	少年	2	午後	122	122	新潟小	新潟小			
	B	7		公民館出前型講座(寄居中学校)	学校を会場とした地域住民向け公民館講座の実施	1	総合	4	午前 午後	36	68	寄居中 新潟小	寄居中 新潟小	新潟コミ 礎コミ		
	B	8		地域みんなって防災力UP(寄居中学校)	学校・コミ協と連携し、地域防災について考える	1	総合	2	午後	103	204	寄居中 新潟小	寄居中 新潟小	新潟コミ 礎コミ		
3. 家庭の教育力向上	B	9		乳児期家庭教育学級(第1期)	乳児期の家庭教育について考える	1	成人	5	午前	22	104				1	保育実施
	B	10		乳児期家庭教育学級(第4期)	乳児期の家庭教育について考える	1	成人	5	午前	21	98				1	保育実施
	B	11		幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育について考える	1	成人	5	午前	24	114				1	保育実施
	B		企画会議		1	成人	2	午前	3	5						企画会議
	B	12		幼児期家庭教育学級「絵本講座」	幼児期の家庭教育における絵本の大切さを学ぶ	1	成人	2	午前	17	27					保育実施
	B	13		幼児期家庭教育学級父親版	【新】父親を対象として、幼児期の家庭教育について考える	1	成人	2	午前	17	30					保育実施
	B	14		ブレママ学校	妊娠中の親が安心して子育てができるように、学習機会を設けるとともに、仲間づくりを進める	1	成人	4	午前	19	58	新潟小	新潟小			
	B		企画会議	1	成人	1	午後	2	2	新潟小	新潟小				企画会議	
	B	15		父親学級	父親の子育て参画を考える	1	成人	9	午前・午後・夜間	26	175					
	B	16		児童期家庭教育セミナー	【新】児童期の家庭教育のあり方を学ぶ(活動協力員協働事業)	1	成人	4	午前	90	90					3
B	17		保育者研修会	保育者の資質向上、情報交換	1	成人	3	午前	231	231						
B	18		中央公民館保育者交流会	保育者との保育室運営等に係る情報交換	1	成人	1	午前	14	14						
B	19		ひよこらんど	乳幼児と保護者のフリースペース	1	総合	68	午前 午後	1,349	1,349				1	ボランティアスタッフと連携	
B		企画会議	1	総合	1	午前	8	8								
4. 青少年の生きる力	B	20		ジュニアリーダー講座	地域活動やまちづくりなどに参画するの青少年の育成	1	少年	2	午前 午後	93	93	新潟柳都中				
	B	21		親子体験教室	体験学習などを通じて、異年齢交流と親子のコミュニケーションを図る	1	総合	5	午前 午後	233	233	日和山小、新潟				2
	B	22		旧小澤家住宅に泊まろう	子どもの体験活動と学校の異なる子ども同士の交流	1	少年	1	午前・午後・夜間	22	22	日和山小	日和山小	旧小澤家住宅		旧小澤家住宅と共催
	B	23		子どもの居場所づくり	公民館に学校や家庭以外の「空間」を設け、地域の大人と子どもがふれあう場を提供する	1	少年	46	午後	1,472	1,472					居場所サポーターと連携
	B	24		子どもの居場所情報交換会	「子どもの居場所」事業について、実施意義や目的を再確認する	1	成人	1	午後	38	38					
B	25		子ども居場所づくりサポーター養成講座	子どもの居場所サポーターの養成及び研修	1	成人	3	午後	12	24						
5. 高齢者の学習・社会参加	B	26		セカンドライフ農業体験事業	【新】農業体験講座を通し、シニア世代の健康づくり、社会参画を支援するとともに、消費者と生産者の交流を図り、農業への理解を深める	1	高齢者	7	午後	22	125				3	
	B	27		セカンドライフ農業体験事業(番外編)	【新】農業体験講座を通し、シニア世代の健康づくり、社会参画を支援するとともに、消費者と生産者の交流を図り、農業への理解を深める	1	高齢者	3	午後	24	68					
6. 現代的課題	B	28		ユースセミナー	コミュニケーションやワークライフバランスについて学ぶ	1	青年	5	夜間	22	78					
	B		企画会議	1	青年	2	夜間	5	9							
	B	29		自由空間	地域の情報交換、交流の場	1	総合	23	午後	237	237				1	自由空間サポーターと連携
				自由空間サポーター養成講座	自由空間サポーターの養成及び研修	1	総合		子ども居場所サポーター養成講座と合同開催							
7. その他	B	30		男の料理ザ・ワールド	男性の仲間づくり、公民館利用の促進(活動協力員協働事業)	1	成人	5	夜間	27	155				3	
	B	31		文化祭	学習サークル作品展示、活動発表	1	総合	1	午前 午後	1,581	1,581					使用団体連絡協議会と共催
	B	32		自主グループ育成事業	団体活動の支援	1	総合	4	午前・午後・夜間	38	38	白新中	白新中			
居場所を除く合計						34		101		3,076	4,028					
居場所合計						3		138		3,066	3,066					
	B			公民館職員研修	公民館職員の資質向上のため	1	成人	6	午前午後	235	235					

平成27年度事業評価シート(中央公民館)

総事業数 (32) 1. コミュニティ(5) 2. 学社民(3) 3. 家庭教育(11) 4. 青少年(6) 5. 高齢者(2) 6. 現代的課題(2) 6. その他(3)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業					2. 学・社・民融合による人づくり、地域づくりに資する事業					3. 家庭の教育力の向上を支援する事業					4. 青少年の生きる力を育む事業				
事業数	5事業 少子化対応1, 学社民の融合1, 地域の絆3					3事業 体験活動1, 公民館型出前講座2					11事業 家庭教育学級5, その他家庭教育講座3, 親子の居場所1, 保育者交流研修2					6事業 体験活動3, 居場所2, ボランティア育成1				
ねらい	地域コミュニティ協議会と連携して事業を実施し、協働体制を推進する。 交流事業や地域課題に関する講座を実施することにより、顔の見える地域づくりと住民の地域課題への関心を促す。					学校・地域・公民館が協働で事業を実施することにより、地域の連携体制を推進する。特に、公民館出前型事業を実施することにより、地域に開かれた学校づくりを進める。					家庭教育学級の実施や居場所の開設により、親同士の仲間づくりを進めるとともに、講座終了後等も学習の継続を支援し、子育ての不安や悩みの軽減を図る。					体験学習を通して、子どもたちの社会的成長を支援するとともに、地域住民やボランティアとの交流を図り、地域で子どもを見守り育てる体制づくりを推進する。				
成果	サークル結成数	—	—	コメント		サークル結成数	1	1	コメント		サークル結成数	4	2	コメント		サークル結成数	—	—	コメント	
	企画委員希望者数	/	—			企画委員希望者数	/	—			企画委員希望者数	/	39	幼児期・プレママ・父親・ひよこらんど		企画委員希望者数	/	—		
	受講者の満足度(平均値)	80%	98%			受講者の満足度(平均値)	80%	87%			受講者の満足度(平均値)	80%	95%			受講者の満足度(平均値)	80%	87%		
	受講者の気づき(平均値)	16点 /20点	16	アンケート実施は連続講座「ひよこらんど学級」のみ		受講者の気づき(平均値)	16点 /20点	13			受講者の気づき(平均値)	16点 /20点	16			受講者の気づき(平均値)	16点 /20点	16		
	その他成果(品)及びその活用等	/	/	鏡淵地域のマップ作成支援を行い、H28年度に完成予定となった。		その他成果(品)及びその活用等	/	/			その他成果(品)及びその活用等	/	/	乳児期家庭教育学級や父親学級での文集作成		その他成果(品)及びその活用等	/	/	子どもの居場所情報交換会を実施し、意義やより良い居場所にするために、一般参加者と共に職員も学ぶことができた	
評点	必要性(平均値)	3.8	地域の実情を知り、地域の活性化に向けて必要性が高い事業である			必要性(平均値)	4.0	学校と地域の連携を推進するため、今後とも取り組んでいく必要があると考える			必要性(平均値)	3.7	子育てに悩む保護者の仲間づくり、不安軽減につながっている			必要性(平均値)	3.3	子どもたちが、普段の生活ではあまり体験できないことを親子で楽しみながら体験することができた		
	有効性(平均値)	3.8	参加者が固定化しているため、さらに幅広い世代の参加への工夫が必要			有効性(平均値)	3.5	普段は学校と繋がりのない地域住民が学校を訪れる機会となっている			有効性(平均値)	3.5	全体的に満足度は高く、受講者同士のつながりも出てきている。			有効性(平均値)	3.5	体験活動や他校の児童・大人との交流を通して子どもたちの社会的成長を支援できている		
	効率性(平均値)	4.0	コミュニティ協議会や学校、ボランティアとの協力が図られ、効率的に役割分担ができた			効率性(平均値)	4.0	地域教育コーディネーターと連携し、効率的に事業を実施することができた			効率性(平均値)	3.9	保育にかかる経費や労力は必要不可欠なものであり、その他の部分ではボランティアや他機関と連携し、効率的に運営している			効率性(平均値)	4.0	企業やボランティア等の協力により、経費・労力面で効率的に実施できている		
	評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分					4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分					4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分					4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分			
改善点	地域コミュニティ協議会との連携事業において、参加者が固定化され、繰り返されている事業については、事業内容の見直しとともに新規参加者を呼び込むためにコミ協と一緒に検討をしていく。					出前講座を実施していない学校に対し、様々な機会をとりえ働きかけを行い事業開催を推進していく。 寄居中学校において、3講座を開催することができた。次年度も引き続き更なる関係づくりを進め、事業を実施する。 その他、体験事業においても学校や地域と連携して事業実施する。					家庭教育については全体的に受講者の満足度は非常に高いが、全体事業に占める割合が高くなっている。事業の統合などにより、スリム化を図りたい。 さらに自主グループ結成の呼びかけやサークルへの参加を働きかけ、自主グループの支援をしていく。					親子体験事業については、他機関などで数多く行われており次年度は事業内容や回数について検討していくこととする。 また、青少年の居場所については、ミニイベントの開催やボランティアとの関わり方について検討していく必要がある。				
館長評価	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
		5					3					10	1				5	1		
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止					A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止					A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止					A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業					6. 現代的課題を探り、解決する事業				
事業数	2事業		高齢者事業2			2事業		青年対象事業1, 地域の茶の間1		
ねらい	シニア世代の市民を対象に、将来的な社会活動参加への支援及び退職後の生活を活動的に過ごすための学習機会を提供し、健康づくりや仲間づくりを図る。					地域の茶の間を開設し、地域住民の交流促進を図るとともに、講座の実施により、生きがいづくりや社会参加を支援する。 また、20代の若者の社会人としてのスキルアップや異業種間での交流を支援する。				
成果		目標値	結果	コメント			目標値	結果	コメント	
	サークル結成数	1	0			サークル結成数	1	1	青年対象事業で、サークルが結成され、活動支援を行っている。	
	企画委員希望者数	/	4			企画委員希望者数	/	7		
	受講者の満足度(平均値)	80%	95%	実際に農地での作付が体験でき満足度は高かった		受講者の満足度(平均値)	80%	100%		
	受講者の気づき(平均値)	16点 /20点	13			受講者の気づき(平均値)	16点 /20点	17		
	その他成果(品)及びその活用等	/				その他成果(品)及びその活用等	/			
評点		評点	コメント				評点	コメント		
	必要性(平均値)	4.0	農作業を一緒に行うことで、自然と会話をする場面ができて参加者同士の交流が図られた			必要性(平均値)	3.5	各世代の学習・仲間づくりの支援として必要な事業である		
	有効性(平均値)	3.5	講座終了後も、振り返りの会などを行ったが、サークル化には至らなかった			有効性(平均値)	3.5	対象者のニーズの把握を行い、講座内容の充実を図る		
	効率性(平均値)	4.0	他事業でもお願いをしている、農家の協力により効率的に実施できた			効率性(平均値)	4.0	活動協力員やボランティアと連携し、事業を実施する事が出来た		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分					4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分				
改善点	受講生に対し、農業を体験することにとどまらず、講座終了後も体験を生かして「農業サポーター」やボランティアでの活動ができるように、促していく。					青年対象事業において結成されたサークルを長く存続させるため、引き続き支援していく。また、今後開催される青年対象事業の参加者も同サークルへの加入を呼びかける。 地域の茶の間には、さらに参加者を呼び込めるよう、気軽に参加しやすい雰囲気づくりや事業実施を行う。				
館長評価	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
		2					2			
館長コメント	<館長コメント> 農業への理解を深め、農業サポーターやボランティア等につなげられるようにする。余裕のある高齢者の趣味的な事業にしないようにする。					<館長コメント> 次代を担う若者たちが学び交流し成長していく場になれるような事業を実施する。また、サークル化を図っていく。地域の茶の間は参加を増やすように内容を改善する。				
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止					A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				

中央公民館運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成27年度事業実施報告

鳥屋野地区公民館																
重点化	No.	事業評価	事業名	事業の目的・主旨 【新】・・・新規事業	開設数	対象					連 携				備考	
							回数	時間帯	参加者数 (人)	延べ参加 者数(人)	学校	地域教育 コーディネーター	コミ協・自治 連・老人会	活動協力 員(人)		
1. 地域のコミュニティ活動	1	B	コミュニティコーディネーター養成講座	地域課題を解決・改善するためにコミュニティの調整役となる人材の育成 企画会議	1	成人	5	午前 午後	25	106			○		鳥屋野地区6コミ 協と共催	
	2	A	避難所体験事業	学校とコミュニティ協議会と連携し地域全体で子どもたちの防災対応能力の育成を行う。	1	少年	1	午前・午後 夜間	28	28		○			4	
	3	B	ユースセミナー	地域における次世代を担う若手の育成。若い人に地域に目を向けてもらう。	5	青年	5	夜間	43	43						新潟NPO協会 協 力
	4	B	地域コミュニティ活性化支援事業	コミュニティ協議会と連携し、地域課題解決(高齢者対策)のためのコミュニティ活動活性化と人材育成を行う。	1	成人	1	午前	79	79			○			
	5	B	子育てサロン	親子の居場所づくり	1	総合	10	午前	385	385		○	○		4	上所・女池民協 協 力
	6	B	子育てサロンスタッフ研修	【新】子育てサロンスタッフ対象の研修会。	1	総合	1	午前	16	16		○	○		4	
	7	B	転勤ママの居場所づくり	転勤族の保護者の仲間づくりと地域の人との交流、情報交換をとおして、地域を知り、地域に入るきっかけとする。	1	成人	6	午前	24	70			○			
2. 学・社・民の融合	8	B	上所夏まつり	上所夏まつりに出前で参加することで、学・社・民で協力しながら健全育 成を図る。	1	総合	1	午後	85	85	○	○	○		3	上所小学校と共催
	9	A	公民館出前講座	【新】出前講座を実施することにより、学校を身近に感じるきっかけとする (調理実習など)	1	成人	1	午前	30	30	○	○				上山中学校と連携
3. 家庭の教育力向上	10	B	乳児期家庭教育学級 2期	乳児期の家庭教育について考える。	1	成人	6	午前	26	142						保育実施
	11	B	乳児期家庭教育学級 4期	乳児期の家庭教育について考える。	1	成人	6	午前	23	121						保育実施
	12	B	幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育について考える。	1	成人	5	午前	23	91						保育実施
	13	B	児童期(思春期)家庭教育学級	児童期・思春期の家庭教育について考える。	1	成人	4	午前	19	54						保育実施
	14	B	パパの子育て応援講座	父親対象の家庭教育について考える	1	成人	3	午前	10	50						保育実施
4. 青少年の生きる力	15	B	子ども体験事業	子どもの野外体験学習と交流。	1	少年	2	午前 午後	19	38					1	
	16	B	子ども楽しみ体験事業	漆器の絵付け体験(にいがたの伝統工芸にふれる)	1	少年	1	午前	21	21						
	17	B	子どもお楽しみ体験事業	クッキー・キャンドルづくり(クリスマス大作戦:大人にプレゼントを贈り交 流)	1	少年	2	午後	33	33					4	
	18	B	学習室開放事業	学習意欲のある中学生に自習室を提供。	1	少年	259	午後	34	127						
	19	B	子どもの居場所づくり・中高生フリースペース	とやの〜「談話コーナー・バンド練習」の場の提供。	1	少年	291	午後	308	349						上所民協協力
	20	B	中高生「バンドライブ2015」	中高生の手作りライブ。 企画会議	1	少年	2	午前 午後	29	29						子育て支援鳥屋野地区教 育会議と共催
	21	B	中高生フリースペース見守りボランティア研修	見守りボランティア対象の研修会	1	成人	1	午後	21	21			○			上所民協協力
5. 高齢者の学習・社会参加	22	B	とやの長寿学級	高齢者の健康と生きがいテーマに学習機会を提供。	1	高齢者	6	午後	377	377			○			老人クラブ鳥屋野 地区協議会と共催
	23	B	いきいきセミナー	シニア世代がいつまでもいきいきと生きていくためのきっかけ作り。(貯筋 運動)	1	高齢者	4	午前	25	91						中央区健康福祉 課と共催
	24	B	いきいきセミナー	シニア世代がいつまでもいきいきと生きていくためのきっかけ作り。(朗読 劇講座)	1	高齢者	6	午後	22	118						中央区健康福祉 課と共催
	25	B	元氣塾 IN とやの	【新】運動しない人達が楽しめるレクリエーションを紹介	1	高齢者	8	午後	49	282						県レクリエーション 協会と共催
6. 現代的課題	26	B	「自然と環境」講座	地域の自然と環境について学ぶ。 企画会議	1	成人	4	午前 午後	26	122					1	
	27	B	世代間交流のつどい	世代間交流を行い、ゆたかな人間関係や地域づくりをはぐむ機会とす る。	1	総合	1	午後	63	63					4	
7. その他	28	C	成人大学講座	越佐の先人たちの生き様から学ぶ。 企画会議	1	成人	6	午前 午後	80	351					2	
	29	B	文化祭	学習サークル作品展示、活動。	1	総合	1	午前・午後 夜間	2,792	2,792						利用団体協議会と 共催
	30	B	自主グループ育成・支援事業	自主グループの育成・活動支援。	5	総合	32	午前・午後 夜間	37	129						
居場所を除く合計					35		131		3,974	5,383						
居場所合計					7		567		798	938						

平成27年度事業評価シート(鳥屋野地区公民館)

総事業数(30) 1. コミュニティ(7) 2. 学社民(2) 3. 家庭教育(5) 4. 青少年(7) 5. 高齢者(4) 6. 現代的課題(2) 7. その他(3)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	7事業 CC育成1、防災1、地域福祉1、少子化対策3、若者支援1				2事業 出前講座1、連携イベント1				5事業 家庭教育5				7事業 体験活動3、居場所4							
ねらい	地域活動者の学習・交流をととして地域コミュニティの活性化に寄与する。 また、地域コミュニティ協議会と連携して事業を実施し、地域課題に取り組む人材を育成する。				学校・地域・公民館が協働で事業を実施することにより、地域の連携体制を推進する。				家庭教育の実施や居場所の設置により、親同士の仲間づくりを進めるとともに、講座終了後も学習継続を支援し、子育ての不安や悩み等を軽減する。				青少年や子どもの健全育成を図るため、青少年の体験活動や異年齢交流等を推進する。 中学生を対象に学校や自宅以外の居場所を提供するとともに、グループ同士や地域の人との交流を図る							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数	1	転勤ママの居場所づくり事業でサークル化した。		サークル結成数				サークル結成数	3	3	ゆりかご学級2、幼児期1		サークル結成数						
	企画委員希望者数	11	CC講座 7人 ユースセミナー2人		企画委員希望者数				企画委員希望者数				企画委員希望者数							
	受講者の満足度(平均値)	80%	89	昨年に比べて満足度が3%あがった。		受講者の満足度(平均値)	80%	91	出前講座での満足度		受講者の満足度(平均値)	80%	99	家庭教育学級の満足度は毎年高い。受講生に寄り添う内容が評価		受講者の満足度(平均値)	80%	98	サマーキッズ・漆器体験・キャンドル・バンドライブの平均値	
	受講者の気づき(平均値)	16点/20点	15	子育てサロンを除く5つの事業で実施。		受講者の気づき(平均値)	16点/20点		単発事業にはなじまないため、アンケートの項目に入れなかった。		受講者の気づき(平均値)	16点/20点	18	こちらも毎回高い。学びたいという気持ちの数値に出ている。		受講者の気づき(平均値)	16点/20点		子ども向け単発事業にはなじまないため、未記入。	
	その他成果(品)及びその活用等					その他成果(品)及びその活用等					その他成果(品)及びその活用等			ゆりかご学級の記録集 毎回受講生の子どもに対する思いがあるれている冊子。この過程で仲間づくりが進むことがよく分かる。		その他成果(品)及びその活用等			キャンドル、クッキーはプレゼント用に作成 世代間交流で大人へのプレゼントとして使用したのは、お互いによかったと思う。	
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	3.6	昨年度より0.4%高くなった。新しい事業の評価が高かったからだ。			必要性(平均値)	4.0	昨年度と同じ値だが、必要度は高い。			必要性(平均値)	3.8	昨年度より0.4%評価が高くなった。児童期・幼児期の評価が上がった。			必要性(平均値)	3.1	バンドライブの評価が2だったため、昨年度より低くなった。		
	有効性(平均値)	3.7	ボランティア研修を除く全ての事業の評価が4だった。			有効性(平均値)	4.0				有効性(平均値)	4.0	児童期の評価が高かったため、昨年度より高くなった。			有効性(平均値)	3.4	他機関との連携が少なかったため、評価が下がった。		
	効率性(平均値)	3.7	昨年度より下がったが、子どもや若者向け事業で広報等に苦労した結果と考える。			効率性(平均値)	3.5	昨年度より低くなったが、これは出前講座の準備不足が評価を低くした。			効率性(平均値)	4.0				効率性(平均値)	3.9			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	子育てサロンは、地域の民協に協力を得て実施することができたが、避難所体験は、そこまで行かなかった。当日は小学校のPTA会長や地域教育コーディネーターが見学に来るなど関心が高い様子だった。今後、コミ協や学校などと連携を取れるような事業になって行けばと思う。また、毎年1コミ協と共催している福祉研修会があるが、今後は別のコミ協にも声がけし、広げて行きたいと考えている。				初めて学校を会場にした出前講座を実施することができた。鳥屋野地区の学校はいずれも空き教室が不足している状況の中、地域住民に学校を身近に感じてもらうことができたが、ひとえに学校の協力なくしては出来ないことだった。次年度は、年度初めから声がけしたうえで地域教育コーディネーター等の協力を得て出前講座を増やしていきたいと思う。				毎年ゆりかご、幼児期は定員を超える盛況ぶりである。定員を超えた場合、抽選となるが、落選した人達の救済措置が充分に出来ているのか、特に鳥屋野地区は転勤族を含め需要が多い。学習意欲のある人達を救う手立てを次年度は考えて行く必要がある。				青少年の居場所事業の周知のため、周辺の中学校にチラシを配布する。 また、体験事業については、子ども達が参加しやすい夏休みなど長期休業期間に実施したい。							
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D				
	1	6			1	1				5				7						
	<コメント> 昨年度から新たに始めた事業が多かったが、いずれも必要度は高く、またこれらの事業には地域の団体が関わっている。地域の活性化は公民館としても必要な事業と考えているので、さらに連携を深めて行きたい。				<コメント> 初めて出前講座を実施することができたが、学校を地域の学びの拠点にという教育ビジョンの目標を達成するため、より多くの学校と連携して行きたい。				<コメント> 家庭教育は、いずれも需要があるため継続する必要がある。また、年度末に実施した父親の子育て講座は、広報不足で参加が少なかった。父親の子育て参加は重要課題なので、早めに計画を立てて実施してほしい。				<コメント> 子ども達の生きる力を育むための体験事業は必要なので、今後も継続してほしい。青少年の居場所事業については、民協と協力しながら地道に続けて行くことが重要と考える。							
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	4事業 健康づくり2、生きがいづくり2				2事業 環境講座1、世代間交流1			
ねらい	高齢者の健康寿命の延伸や生きがいづくりを支援する。また、事業を通して仲間づくりを図り、地域活動につなげる。				環境や人権意識など現代的課題についての学習機会を提供し、市民の意識啓発及び社会参加を促す。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	2	1	朗読劇の自主化はできなかったが、貯筋は上手いかなかった。	サークル結成数			
	企画委員希望者数		6	貯筋運動	企画委員希望者数		5	自然と環境講座の数字
	受講者の満足度(平均値)	80%	93	長寿・貯筋・朗読劇の平均値	受講者の満足度(平均値)	80%	91	自然と環境講座の数字。世代間はアンケートを取り忘れた。
	受講者の気づき(平均値)	16点/20点	14	長寿・貯筋・朗読劇の平均値	受講者の気づき(平均値)	16点/20点	13	上記と同じ。
	その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等			
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	3.5	高齢者の健康寿命の延伸のため、高齢者向けの事業は必要。		必要性(平均値)	3.5	見直し対象の事業が亡くなったので、評価が高くなった。	
	有効性(平均値)	3.3	県レク協会など他機関との連携は効果があったが、アンケートを取らなかったため達成度が低かった。		有効性(平均値)	3	他機関との連携がなかったため、評価が低くなった。	
	効率性(平均値)	3.8	他機関との連携で講師謝礼など事業費がかからずメリットが大きい。		効率性(平均値)	3.5	他機関との連携で費用が抑えられた事業がなくなったので、評価が低くなった。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	高齢者の健康づくりや生きがい探しは、市の施策の一環として重視されている。次年度は、公民館に足を運んだことのない人達をターゲットに事業を考えていきたい。そのためにも、参加者からアンケートを取り、高齢者のニーズを把握する必要がある。				自然と環境講座は、鳥屋野地区公民館の特性を生かした事業のため、今後も様々な角度から環境をテーマに実施していきたい。世代間交流は、従来の高齢者と子どもという対象を再検討のうえ実施したい。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		4				2		
	<コメント> 高齢者がいつまでも元気に過ごすためには健康づくりや生きがいづくりが重要。そのためにも、様々な視点から考え実施してほしい。県レク協会との共催事業は、お互いにメリットが大きかった。次年度も是非連携して実施してほしい。				<コメント> いずれも、鳥屋野地区公民館の大事な事業であり、継続して行きたい。また、世代間交流は、今年度は視点を変えて少年体験事業とコラボした結果、双方にプラスの結果となった。今後も前例にとらわれることなくいい企画を考えてほしい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

中央公民館運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直し必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成27年度事業報告

居場所事業

東地区公民館

重点化	No.	評価	事業名	事業の目的・趣旨	開設数	対象	回数	時間帯	参加者数 (人)	延べ参加者 数(人)	運 携				備考
											学校	地域教育コ ディネーター	コミ協・自治 連・老人会	活動協力 員(人)	
1. 地域のコミュニティ活動	1	B	江東コミュニティ研修会	コミュニティ協議会と連携し、地域課題の解決法を探るための先進地視察や研修(東出張所と共催)	1	成人	2	午前・午後	30	55			江東地区コミ協		
	2	B	お寺でゴーン	地域全体で取り組む子どもの健全育成	1	少年	1	午後・夜間・午前	20	20			沼垂小学校区コミ協	1	・沼垂小学校区コミ協・学生生活改善推進委員協議会中心本部と連携
				企画会議	1	成人	3	午前・午後	9	9				1	
	3	B	子育て支援コミュニティリーダー育成	地域の子育て支援リーダーの育成とスキルアップ研修	1	成人	2	午後	15	25					
	4	B	高齢者を支え合う地域づくり支援事業	高齢者の居場所づくり啓発と情報交換	1	成人	2	午後	84	84			江東地区民原協		中央区社会福祉協議会と連携
5	B	地域学振興事業	地域の歴史等をおし地域課題を学び、地域づくりへ	1	成人	2	午後	112	112				2		
2. 学・社・民の融合	6	B	児童期家庭教育学習会	【沼垂小】児童期の家庭教育小学校出前型(PTAと共催)	1	成人	1	午後	64	64	沼垂小	沼垂小			保育希望無
				企画会議	1	成人	3	夜間	3	9					
	7	B	児童期家庭教育学習会	【笹口小】児童期の家庭教育小学校出前型(PTAと共催)	1	成人	1	午後	14	14	笹口小	笹口小			保育希望無
				企画会議	1	成人	2	午前	3	6			笹口小		
	8	B	児童期家庭教育学習会	【万代長嶺小】児童期の家庭教育小学校出前型(PTAと共催)	1	成人	1	夜間	22	22	万代長嶺小	万代長嶺小			保育希望無
				企画会議	1	成人	2	午前	2	4			万代長嶺小		
	9	B	家庭教育学習会	家庭の教育力向上(番外編)	1	成人	1	午後	28	28					保育実施
10	D	家庭教育学習会「子育てこみゅ0123！」	子育て支援活動地域小学校出前型	1	総合	6	午前	146	146				1	ボランティアスタッフと連携	
			企画会議	1	成人	6	午前・午後	3	16				1		
11	B	子ども環境教育推進事業	学校、地域と連携した環境学習	1	少年	1	午後	47	47	万代長嶺小	万代長嶺小				
12	B	中高年パソコン体験教室	初めてのパソコンを楽しみながら学ぶ	1	成人	1	午前	17	17	宮浦中	宮浦中				
3. 家庭の教育力向上	13	B	乳児期家庭教育学級	乳児期の家庭教育について考える	1	成人	6	午前	21	107					保育実施
	14	B	子育てサロン	子育ての情報交換と交流	1	総合	39	午前・午後	605	605				1	ボラン(7/8/9)、総本を築した余、万代長嶺地区民原協、東地区居場所協議会と連携
	15	B	保育者交流会	保育者との保育室運営等に係る情報交換	1	成人	1	午前	5	5					
4. 青少年の生きる力	16	B	キッズ探検隊	体験活動をおとした異年齢交流と仲間づくり	1	少年	1	午前・午後	23	23				2	
				企画会議	1	成人	3	午前	6	6				2	
	17	B	キッズ・サイエンス	科学への興味・関心を喚起	5	少年	5	午前・午後	110	110				3	
				企画会議	5	成人	14	午前・午後	14	38				3	
	18	B	青少年の居場所づくり事業 夏休み・冬休みイベント	地域の子どもと大人の交流機会	2	総合	2	午前	34	34					
19	B	青少年の居場所づくり事業 小・中・高生のフリースペース	小・中・高生の放課後の居場所づくり	1	少年	348	午前・午後	653	653						
20	B	青少年の居場所づくり事業 中・高生の学習室	中・高生の放課後の学習室	1	少年	345	午前・午後	63	63						
5. 高齢者の学習・社会参加	21	B	セカンドライフセミナー	高齢者の社会参加の機会により、課題解決に向けての意識付けや再認識の共有化を図る	1	高齢者	5	午前	41	159				2	
				企画会議	1	成人	5	午前・午後	5	25				2	
	22	B	団塊世代対象事業	自立可能な、また、主体的な生活の確立を目指すとともに新たな仲間づくりを図る	1	成人	5	午後	94	207					民間団体と連携
			企画会議	1	成人	3	午前	6	13						
6. 現代的課題	23	D	女性セミナー	女性の生き方を考える	1	成人	5	午後	20	82				1	保育実施
				企画会議	1	成人	5	午前	5	21				1	
7. その他	24	B	文化祭	利用団体の学習成果の発表と団体相互の親睦を図る(利用団体連絡協議会と共催)	1	総合	4	午前・午後	1,430	1,430				1	
	25	B	グループ活性化事業 公民館まつり	公民館利用グループでの体験教室	1	総合	20	午前・午後・夜間	232	232					
	26	B	自主グループ育成事業	自主グループの育成及び支援	1	総合	2	午前・午後	10	10					
居場所を除く合計					42		123		2,675	3,180					
居場所合計					3		732		1,321	1,321					

平成27年度事業評価シート(東地区公民館)

総事業数(26) 1. コミュニティ(5) 2. 学社民(7) 3. 家庭教育(3) 4. 青少年(5) 5. 高齢者(2) 6. 現代的課題(1) 7. その他(3)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業				
事業数	5 事業 江東コミュニティ研修会、お寺でゴーン、子育て支援リーダー育成、高齢者を支え合う地域づくり、地域学振興				7 事業 児童期家庭教育学習会3、家庭教育学習会、子ども環境教育推進、中高年パソコン教室				3 事業 乳児期家庭教育学級・子育てサロン・保育者交流会				5 事業 青少年の居場所づくり事業3、キッズ探検隊、キッズサイエンス				
ねらい	1. コミュニティ協議会と共催し、集団での体験活動とおし基本的な生活習慣・社会性を身につける 2. 子育て支援及び高齢者支援活動の強化と支援者の育成を行う 3. 地域の歴史や文化など地域の魅力の発見から地域づくりの活動につなげ、地域の活性化を図る				1. 学校・PTA・公民館の連携強化により、地域全体の教育力向上につなげる 2. 学校・家庭・地域と公民館の連携により相互の果たす役割と協働のあり方を学ぶ				1. 子育ての育児不安の軽減と仲間づくりを進める 2. 子育て支援ボランティアの育成を図る				1. 普段ではできない体験活動を行い、知的好奇心を育み、創造力豊かな子どもを育てる 2. 子ども同士の交流、子どもと大人(指導者・学生)の交流の場とし、相互理解を図る 3. 子どもが自ら遊び方を工夫することで、考える力を養う				
成果	サークル結成数		結果	コメント	サークル結成数		結果	コメント	サークル結成数	1	1	結果	コメント	サークル結成数		結果	コメント
	企画委員希望者数		3	活動協力員との企画会議を実施	企画委員希望者数		2	活動協力員との企画会議を実施	企画委員希望者数		1	活動協力員との企画会議を実施	企画委員希望者数		5	活動協力員との企画会議を実施	
	受講者の満足度(平均値)	80%	91%	寺ゴンや高齢者の体験型講座の満足度が高かった。	受講者の満足度(平均値)	80%	94%	子育てでの気づきや不安・悩みの解消につながった。	受講者の満足度(平均値)	80%	80%	満足度の目標値を達成するために、講座の内容や講師を精査した	受講者の満足度(平均値)	80%	97%	参加者同士やスタッフと交流をしながら、いきいきと活動していた	
	受講者の気づき(平均値)	16点/20点	16点	地域の魅力の発見とともに、地域課題にも気づききっかけとなった。	受講者の気づき(平均値)	16点/20点	16点	子どもと向き合う姿勢や親の学びの大切さについての気づきがあった。	受講者の気づき(平均値)	16点/20点	19点	保育付きで子育てを学び、友達作りができた	受講者の気づき(平均値)	16点/20点	19点	体験活動を通して、新たな興味を発見することができた。	
	その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等					その他成果(品)及びその活用等			
評点	必要性(平均値)	4.0	地域の魅力を発見すると共に地域課題に取り組む事業として必要。		必要性(平均値)	4.0	家庭教育の大切さを啓発し、子どもの育ちを社会で支援するために必要。		必要性(平均値)	4.0	育児不安の軽減、仲間づくりのために必要である		必要性(平均値)	4.0	体験活動などを通して、子どもの健全育成を図る機会として重要。		
	有効性(平均値)	3.6	地域や関係団体との連携により有効な事業展開ができた。		有効性(平均値)	3.7	学校やPTA・地域ボランティアと協力し合い事業を運営できた。		有効性(平均値)	3.7	ねらいを達成するために各回の運営方法や講師選定を工夫した		有効性(平均値)	3.4	地域住民や専門学校・大学生などとの連携が図られた		
	効率性(平均値)	4.0	経費負担を抑え事業を効率的に運営することができた。		効率性(平均値)	3.8	複数事業を1枚のチラシにまとめるなど経費と労力の効率化を図った。		効率性(平均値)	4.0	経費は講師および保育者への謝礼が大部分を占めるため、コストの削減は難しい		効率性(平均値)	3.7	講師と密に連絡を取り合い、スムーズに事業を進めることができた		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				
改善点	お寺でゴーンでは、プログラムの内容が児童にとって受け身とならないよう、児童が自発的に取り組む課題を用意する工夫が必要。				学校や地域教育コーディネーターとの連携や協力をより一層深めることが不可欠。PTA側がより積極的に事業に取り組めるような工夫も必要。				保育者交流会は、ゆりかご学級と同時期に行うようにし、保育者たちの公民館事業への意識をより高めてもらう。また、子育てサロンサポーターも、新規加入を見据えて考え方やノウハウをマニュアルとしてまとめた。				居場所づくりについては、特に中高校生の取り込みを図ることが今後も必要。一般的に子どもが公民館に行きたいと思うような特色づくりと、広報活動に力を入れたい。				
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
		5				5		1		3				5			
	<コメント> 今後もより一層、地域や関係団体との連携を密にし、地域の魅力発見と地域づくりの契機となる事業を企画したい。				<コメント> ボランティアスタッフの減少と保護者のニーズの多様化に対応するため、家庭教育学習会「子育てこみゆ」は発展的に解消し、次年度から親子遊びを中心とした「子育て広場」と幼児期家庭教育学習会に分化させる。				<コメント> 保育者やサロンサポーターといった、公民館事業を支えるスタッフのスキルアップを図る。また、ゆりかごの受講者は将来の公民館活動を支える予備群でもあるため、大切に育てる必要がある。				<コメント> 各種体験活動は、創造力豊かな子どもの健全育成に役立っており、放課後の居場所づくりは地域住民との交流を図り、社会性を育むのに有効な事業であるため、今後も青少年のニーズを把握しながら事業を進めていく。				
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	2 事業 セカンドライフセミナー、団塊世代対象事業				1 事業 女性セミナー			
ねらい	1. 高齢者の学習意欲を喚起し、社会参加や今後の生き方を考える。 2. 団塊世代の社会参加に焦点を当て、対象者が身につけてきた知識や経験に働きかけ、知的欲求を満たす講座を展開し、社会参加へとつながるきっかけとする。				1. 年齢や性別に関連する現代的な諸問題について学ぶ 2. 関連団体と協力・連携を図り講座を運営する。 3. 自発的な学習継続に向けて、企画委員の募集や自主グループ作りの支援を行う			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数				サークル結成数			
	企画委員希望者数		8	活動協力員、サイエンスカフェ企画委員との会議を実施	企画委員希望者数		1	活動協力員との企画会議を実施
	受講者の満足度(平均値)	80%	90%	興味深いテーマを講師が分かりやすく解説し満足度が高い。	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	非暴力トレーニングのワークショップの満足度が高かった。
	受講者の気づき(平均値)	16点 /20点	15点	身近な問題が社会的な問題にもつながっていることを認識できた。	受講者の気づき(平均値)	16点 /20点	14点	自分と他者との関わりについて考えさせられた。
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4.0	高齢者の知的好奇心を満足させ、仲間づくりを図るために必要。		必要性(平均値)	3.0	現代的課題は女性問題だけに留まらないため、より広いテーマ設定が必要。	
	有効性(平均値)	3.5	身近な疑問や不安と向き合い自分自身を見つめ直すきっかけとなった。		有効性(平均値)	4.0	市人権擁護委員協議会との連携が図られた。	
	効率性(平均値)	3.5	講座の質の高さを維持したいが、将来的に講師謝礼が懸念される。		効率性(平均値)	4.0	全5回のうち2回は国庫負担で事業ができた。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	サイエンスカフェでは、講演会からカフェ形式の質疑応答に移る際に時間が開き、集中力の持続が難しい。セカンドライフセミナーでは各テーマが全体としてつながる内容となるための講師との打ち合わせが欠かせない。いずれもスムーズな運営となるよう検討していく。				次年度から人権講座へ移行する。地域のニーズにみあうテーマづくりを目指す。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		2						1
	<コメント> それぞれ連続講座でありながら、各回のテーマがバラエティに富んでいる。公民館を知ってもらう良い機会となるよう、今後も魅力的なテーマ選定を心がけたい。				<コメント> 女性問題だけでなく、広く人権について考えるため発展的に解消し、次年度から「人権講座」として再構築する。より広い視野からテーマ設定していきたい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

中央区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成27年度事業報告

居場所事業

重点化	No.	評価	事業名	事業の目的・趣旨 【新】・・・新規事業	開設数	対象	回数	時間帯	参加者数 (人)	延べ参加 者数(人)	連 携			備考	
											学校	地域教育コ ディネーター	コミ協・自治 連・老人会		活動協力 員(人)
1. 地域のコミュニティ活動	1	B	おも知る関屋学	住民自らの地域研究をとおして地域の歴史を学ぶ 企画会議	1	成人	8	午後	40	241					
	2	B	森のコンサート	地域の中で音楽をとおして交流する	1	総合	1	午前	100	100	関屋中	関屋中コ ディネーター	中央区老人 クラブ連合	3	念仏寺
	3	B	お寺でゴ〜ン!	学校や地域と連携し、社会全体で子どもの望ましい基本的生活 習慣の育成や家庭教育への意識啓発を図る	1	総合	1	午後	21	21			浜浦小コミュ ニティ協議	3	念仏寺
	4	B	あかちゃんお誕生おめでとう	地域と一体となり安心して子育てできる環境をつくる	1	成人	2	午前	43	43			浜浦小コミュ ニティ協議	1	コミ協と連携
2. 学・社・民の融合	5	B	チャレンジゼミ	小学校と利用団体と公民館の共催で体験学習を実施	1	少年	1	午後	40	40	有明台小	有明台小 コディネター			利用団体と連携
	6	C	世代間交流の集い	関屋中学校卓球クラブと利用団体との交流	1	総合	1	午後	41	41	関屋中	関屋中コ ディネーター			利用団体と連携
3. 家庭の教育力の向上	7	B	幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育のあり方を考える 企画会議	1	成人	5	午前	20	88				1	保育実施
	8	B	乳児期家庭教育学級	乳児期の家庭教育のあり方を考える	1	成人	5	午前	21	95				1	保育実施
	9	B	小学生期家庭教育学級	【新】小学生期の家庭教育のあり方を考える	1	成人	1	午前	9	9					
	10	E	親と子のひろば	親子で遊びながら交流し仲間づくりをする	1	総合	2	午前	12	18					
	11	C	子育てネットまつぽっくり	子育て交流や情報交換を行う	1	総合	50	午前	446	446				1	
4. 青少年の生きる力	12	B	わくわくランド	小学生が体験活動をとおして、他校・他学年との仲間づくり をする 企画会議	1	少年	10	午前・午 後・夜間	30	253	新潟青陵 大学・新			1	利用団体と連携
	13	E	公民館に泊まってみよう	【新】家族から離れ友達やスタッフと過ごすことで、自ら考え行 動するきっかけをつくる。わくわくランドダイジェスト版	1	少年	1	午前・午 後・夜間	20	17	新潟青陵 大学				
	14	B	将棋クラブ	小学生が将棋をとおして、他校・他学年との仲間づくりをす る	1	少年	21	午前	28	128					利用団体と連携
	15	B	文字と書道に親しもう	ふだん使っている文字(漢字・ひらがな)の成り立ちや意味な どを考え、書道の楽しさを知る	1	少年	2	午前	20	35	新潟大学				
	16	B	体験教室	簡単なお菓子作りや工作を体験し、ものづくりの楽しさを味 わう	3	少年	3	午前	69	69	新潟大学			2	利用団体と連携
	17	B	子ども映画会	長期休みに映画を楽しんでもらう	1	少年	1	午前	100	100				1	
	18	B	3日体操体験教室	3日体操の体験を通じた浜浦ひまわりの児童と3日体操会員 との世代間交流	1	少年	1	午後	21	21					利用団体と連携
	19	B	座・オアシス	小中高生の放課後や休日の居場所	1	少年	344	午前・午 後・夜間	4816	4816					
	20	B	学習室開放事業	中高生の学習室	1	少年	111	午前・午 後・夜間	554	554					
5. 高齢者の学習・社会参加	21	B	さわやか学級	生きがいづくりと現代社会を考える	1	高齢者	5	午前	40	174				2	健康福祉課と共 催
	22	B	ほがらか学級	生きがいづくりと現代社会を考える	1	高齢者	5	午前	40	160				3	健康福祉課と共 催
6. 現代的課題	23	B	囲碁入門教室	囲碁の基礎を学びながら、地域の大人と子どもの交流を図 る。	1	総合	19	午前	16	203				1	利用団体と連携
	24	B	関屋モーニングサロン	地域の人たちを事業の企画運営委員として育成する 企画会議	1	成人	7	午前	120	716					
	25	B	大学健康公開講座	健康についての知識を身につける	2	成人	2	午前・午後	173	173	新潟医療福 祉大・日本			1	
7. その他	26	B	初級登山教室	安全で楽しい登山普及のため、知識・技能を習得する 企画会議	1	成人	6	午前・午 後・夜間	26	127					利用団体と連携
	27	B	関屋おも知らまちあるき (公民館活動協力委員との協働事業)	活動協力員との事業企画・実施 企画会議	1	成人	1	午後	18	16				9	利用団体と連携
	28	B	笑いヨガ体験教室	【新】自主サークルの育成及び支援	1	成人	1	午後	32	28			関小コミ協		コミ協と連携
	29	E	レッツ・ラーン・グローバル・イングリッシュ	【新】英語学習をとおして新規サークルの結成を図る	1	成人	3	夜間	15	40					
	30	B	文化祭	利用団体が学習の成果を発表するとともに、団体相互の親睦及び地 域住民との交流を図る	1	総合	1	午前・午後	1735	1735					利用団体と連携
居場所を除く合計					36		158		2,904	4,995					
居場所合計					3		505		5,816	5,816					

平成27年度事業評価シート(関屋地区公民館)

総事業数 30 1. コミュニティ(4) 2. 学社民(2) 3. 家庭教育(5) 4. 青少年(9) 5. 高齢者(2) 6. 現代的課題(3) 7. その他(5)

重点名	1. 地域住民のコミュニティづくりに資する事業					2. 学・社・民融合による人づくり、地域づくりに資する事業					3. 家庭教育に資する事業					4. 青少年の健全育成に資する事業								
事業数	4事業 地域の絆1, 世代間交流1, 学社民1, 少子化対応1					2事業 世代間交流1, 出前講座1					5事業 家庭教育学級3, 親子あそび1, 居場所1					9事業 体験活動7, 居場所2								
ねらい	地域住民に地域のことを知ってもらうため、地域の歴史、文化、課題などの学習機会を提供することで愛着心を育てる。また地域住民の交流を図り、地域課題に取り組む人材や団体を育成し支援する。					学校、公民館利用団体などと連携、協力して、それぞれの役割の中でできることを分担して事業を行うことで、地域住民の豊かな人間性を養う。					家庭教育の自主性を尊重しながら、学習の機会、情報、交流の場を提供することで、家庭教育を支援する。					青少年の体験活動や、異年齢交流などにより、青少年や子どもの健全育成を図る。								
成果	目標値	結果	コメント			目標値	結果	コメント			目標値	結果	コメント			目標値	結果	コメント						
	サークル結成数	0	0				サークル結成数	0	0				サークル結成数	2	2	目標とする家庭教育学級において、自主サークルを結成することができた。			サークル結成数	0	0			
	企画委員希望者数	/	13	特定の講座ではあるが企画委員を中心に運営できた。			企画委員希望者数	/	0				企画委員希望者数	/	3	積極的に企画委員を募り、活用していきたい。			企画委員希望者数	/	0			
	受講者の満足度(平均値)	80%	95%	多くの事業で受講者の満足を得ることができた。			受講者の満足度(平均値)	80%	98%	単発での体験講座のためアンケート未実施。			受講者の満足度(平均値)	80%	98%	多くの受講者から満足していただいた。			受講者の満足度(平均値)	80%	95%	多くの受講者から満足していただいた。		
	受講者の気づき(平均値)	16点 /20点	14点	「学習サークルを作ろうと思った」など特定の項目が極端に悪かった。			受講者の気づき(平均値)	16点 /20点	18点	単発での体験講座のためアンケート未実施。			受講者の気づき(平均値)	16点 /20点	18点	自主サークルの結成につながるなどの成果があった。			受講者の気づき(平均値)	16点 /20点	17点	「新しくわかったことがあった」など受講者の気づきに成果があった。		
その他成果(品)及びその活用等	/	企画委員を講師として派遣	地域学講座から育った企画委員を小学校3校・中学校1校に総合学習の講師として派遣した。			/	公民館利用団体を講師として国語の授業に派遣	チャレンジゼミでは、提案が学校のニーズに合致し、授業とのコラボレーションを実現			/	幼児期の企画会議を開催できた。	ニーズに合った内容の講座が開催でき、気づきや満足度も向上したが、必要課題が少なくなってしまうことに悩む。			/								
評点	評点	コメント				評点	コメント				評点	コメント				評点	コメント							
	必要性(平均値)	4.0	地域にとって必要な事業となっている。				必要性(平均値)	4.0	学校と公民館の連携を強化する面からも必要な事業である。				必要性(平均値)	3.8	子育て中の親と子にとって必要な事業となっている。				必要性(平均値)	3.8	民間では対応できない講座内容になっていて、必要性が高い。			
	有効性(平均値)	4.0	必要に応じて他機関と連携を図り事業を実施できた。				有効性(平均値)	4.0	学校、地域教育コーディネーター、公民館利用団体と連携が図れた。				有効性(平均値)	3.8	他機関との連携は必要に応じて図っている。				有効性(平均値)	3.7	他機関とも連携が図られていて適切である。			
	効率性(平均値)	4.0	必要最小限の経費で事業を行うことができた。				効率性(平均値)	4.0	適当であった。				効率性(平均値)	4.0	適切であった。				効率性(平均値)	4.0	ボランティア講師をできるだけ活用し、事業費削減に努めた。			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分					4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分					4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分					4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分								
改善点	講座内容は好評なのでこれをベースに継続し、より多くの方から参加していただけるよう、様々な媒体を活用して広報活動に取り組みたい。					学校との共催であるため、予定がなかなか立てられなかったり、制約も多いが、継続することで信頼関係を築いていきたい。出前型講座においては企画段階からコーディネーターと連携して良い講座にしたい。					講座終了後も、参加者が安心して子育てできるように、他機関との連携を強化するとともに、自主サークルの結成を促していきたい。子育てサロンについては他機関でも行われていることから、互いの役割分担について検討していきたい。					体験活動については、コミュニティ協議会でも同様な活動を行っていることから、連携してより良い事業を展開していきたい。								
館長評価	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E				
		4					1	1				3	1		1		8				1			
館長コメント	<館長コメント> 地域の絆、愛着を深めることに一定の成果をあげている。一部事業は参加募集対象地域を拡大してより多くの方から参加していただけるように改善し、継続して取り組みたい。					<館長コメント> 小学校、中学校、公民館利用団体と協力して事業を行っていて評価できる。今後も継続することで参加者にとってより良い事業にして欲しい。					<館長コメント> 現代社会において、家庭教育支援は必要性が非常に高く、地域からも求められているので、有効性、効率性に留意しながら継続したい。					<館長コメント> 様々な体験をとおして、他校、他学年と交流する場になっている。地域の子どもの健全育成を図るうえで必要な事業である。								
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止					A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止					A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止					A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止								

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業					6. 現代的課題を探り、解決する事業				
事業数	2業		高齢者事業2			3事業		世代間交流1, 教養講座2		
ねらい	高齢者の交流促進を図るとともに、講座の実施により、生きがいづくりや社会参加を支援する。					企画委員、地域住民とともに現代的課題を考え、そのテーマに沿った講演会、学習会を開催することにより現代的課題の解決を図る。				
成果		目標値	結果	コメント			目標値	結果	コメント	
	サークル結成数	0	0			サークル結成数	0	0		
	企画委員希望者数	/	0	企画委員主導で運営できた。		企画委員希望者数	/	9	教養講座は企画委員主導で運営できた。	
	受講者の満足度(平均値)	80%	93%	受講者から概ね満足していただいた。		受講者の満足度(平均値)	80%	96%	受講者から概ね満足していただいた。	
	受講者の気づき(平均値)	16点 /20点	15	「学習サークルを作ろうと思った」など特定の項目が極端に悪かった。		受講者の気づき(平均値)	16点 /20点	16	「学習サークルを作ろうと思った」など特定の項目が極端に悪かった。	
その他成果(品)及びその活用等	/				その他成果(品)及びその活用等	/				
評点		評点	コメント				評点	コメント		
	必要性(平均値)	4.0	定員を上回る応募があり、地域住民にとって必要な事業になっている。			必要性(平均値)	4.0	定員を上回る応募があり、地域住民にとって必要な事業になっている。		
	有効性(平均値)	4.0	他機関、活動協力員と連携が図られていて適切である。			有効性(平均値)	4.0	他機関、活動協力員、企画委員と連携が図られていて適切である。		
	効率性(平均値)	4.0	無償講師をできるだけ選定するなどして、事業費の効率化に取り組んだ。			効率性(平均値)	4.0	無償講師をできるだけ選定するなどして、事業費の効率化に取り組んだ。		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分					4 適切・十分 3 概ね適切・概ね十分 2 やや不適切・やや不十分 1 不適切・不十分				
改善点	受講生の気づきは向上しており、一定の評価をいただけたと思う。実習などを交えながら、今後も地域の高齢者が幸せなシニアライフを送るために必要な情報を提供していきたい。					講義形式の講座が多いが、実習をまじえるなど受講者の交流を図る工夫をすることで、サークルの結成、企画委員の養成につなげていきたい。				
館長評価	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
		2					3			
館長コメント	<館長コメント> 毎年、高齢者のより良い暮らしに有用で興味あるテーマを選び、講座を提供することはなかなか難しいが、健全な高齢化社会にあって不可欠な講座であることから、今後も継続して一層魅力的な講座を目指したい。					<館長コメント> 他機関、活動協力員、企画委員と連携して事業運営し、市民の意見を講座内容に反映させることができた。				
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止					A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				

中央区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止